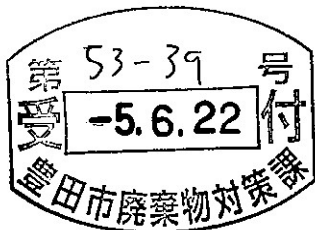


産業廃棄物処理計画書

令和5年6月22日

豊田市長殿



提出者

住所 豊田市美里5-15-3
 氏名 株式会社 西島産業
 代表取締役 西嶋 康夫
 電話番号 0565-80-6879

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

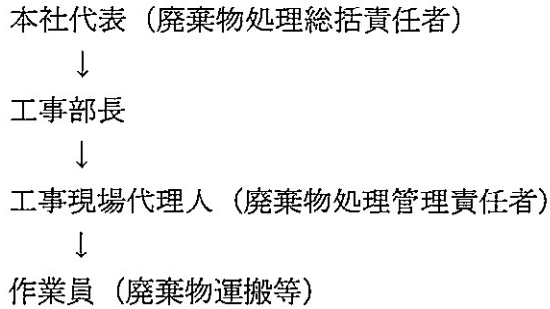
事業場の名称	株式会社 西島産業
事業場の所在地	愛知県豊田市美里5-15-3
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	08：設備工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 万円 ※未確定のため、後日記載予定。
③ 従業員数	10名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	土木工事・水道施設工事・給排水衛生設備工事 がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 汚泥→中間処理業者に委託して脱水後、再生処理業者にて再生土砂として再生資源化 廃プラスチック類→中間処理業者に委託して圧縮後、再生処理業者にて再生資源化(リサイクル、プラスチック製品)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	汚泥	
	排出量	1,097.40t	11.60t	13.75t	
	(これまでに実施した取組) 付着物を取り除いてから排出する。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	汚泥	
	排出量	1,000t	11.00t	13.00t	
	(今後実施する予定の取組) がれき類は付着している土砂などをできる限り取り除いてから排出する。				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、がれき類はそれぞれ分別して保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合物をできるだけ分別し、再生処理委託する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	
	(これまでに実施した取組) 実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	
	(これまでに実施した取組) 実施していない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量				
(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項

【前年度（ 4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	汚泥	
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組) 実施していない。				
【目標】				
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	汚泥	
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0t	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（ 4 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	汚泥	
①現状	全処理委託量	1,097.40t	11.60t	13.75t
	優良認定処理業者への 処理委託量			
	再生利用業者への 処理委託量	1,097.40t	11.60t	13.75t
	認定熱回収業者への 処理委託量			
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者への			
	(これまでに実施した取組) 実施していない。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【目標】				
産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラ	汚泥	
全処理委託量	1,000t	11.00t	13.00t	
優良認定処理業者への 処理委託量				
再生利用業者への 処理委託量	1,000t	11.00t	13.00t	
認定熱回収業者への 処理委託量				
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者への				
(今後実施する予定の取組) 委託先への定期的な処理方法などの現地確認を行う。				
②計画				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）であへの焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。